

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量・設計業務委託
(中ヶ原川) 橋梁

事業・工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	Bor. 1	調査位置	広島県呉市安浦町下垣内	北緯	34° 18' 05.6155"
発注機関	広島県西部建設事務所 呉支所	調査期間	令和2年10月 9日～ 令和2年10月20日	東経	132° 42' 47.5451"
調査業者名		主任技師		コ	ア
孔口標高	TP 131.46m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	14.00m	度	0°	向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
		地盤勾配	鉛直 0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 東邦D1-B58 エンジン NS-110
				コ	ア
				鑑定者	ボーリング責任者
				ポンプ	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日			
											深度 (m)	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号						
1			砂混り砂質土	砂混り砂質土		淡褐	rd2		細～粗粒の砂・砂質土。 φ5～30mmの角礫・亜角礫が不規則に混じる。	10/20 8.93	4	1.15	1	2	1	1	1.15	P-1	○			
2	128.76	2.70									7	2.15	3	2	2	2	2.15	P-2	○	10/9		
3	126.56	4.90	砂質土	砂質土		淡灰褐			土石流堆積物。 少量の粘性土分を含んだ細～中粒砂。 φ5～50mmの角礫・亜角礫と長さ10～20cmの転石が混在する。 礫・転石の一部は風化し軟岩。		50以上	3.05	27	23	50	150	3.05	P-3	○	10/9		
4	126.56	4.90	砂質土	砂質土		淡灰			土石流堆積物。流紋岩の硬い転石。ハンマーの打診で金属音。		50以上	4.33	20	30	50	170	4.33	P-4	○	10/12		
5	125.76	5.70	砂質土	砂質土					土石流堆積物。地山の砕屑物を起源とする堆積土砂。少量の粘性土分を含んだ細～中粒砂又は砂質土状。 φ5～30mmの角礫が不規則に混じる。 削孔水は断続的に透水する。		50以上	6.15	7	13	30	50	290	6.15	P-5	○	10/13	
6			砂質土	砂質土		淡黄褐	rd5					28	7.45	7	7	14	28	7.45	P-6	○	10/14	
7											50以上	8.15	13	21	16	50	270	8.15	P-7	○	10/15	
8	121.76	9.70	砂質土	砂質土							50以上	9.15	26	24	50	200	9.15	P-8	○	10/15		
9											50以上	10.00	50	50	30	30	10.00	P-9	○	10/16		
10			砂質土	砂質土		淡黄褐			土石流堆積物。少量の粘性土分を含んだ細～中粒砂。一部は風化土状をなす。 φ5～40mmの角礫・亜角礫と、長さ8～23cmの転石が混在する。 礫・転石の基質は流紋岩が大。岩質は緻密で新鮮。 削孔水は断続的に透水し、透水が続く。		34	11.15	13	6	15	34	11.15	P-10	○	10/16		
11											50以上	12.10	50	50	20	20	12.10	P-11	○	10/19		
12											50以上	13.20	19	31	50	200	13.20	P-12	○	10/19		
13	117.46	14.00									50以上	14.15	50	50	70	70	14.15	P-13	○	10/20		
14											50以上	14.22	70	70	70	70	14.22				10/20	